



# 士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 29 No. 2419

2012-2013年度国際ロータリーのテーマ



例会場／士別グランドホテル  
例会日／毎週月曜日 12:10～13:10  
事務所／士別グランドホテル TEL 0165-23-1234  
会長／尾崎 学 副会長／千葉繁夫  
幹事／泉谷 勇



士別市立「あいの実保育園」と士別RIが創立50周年記念事業に寄贈した遊具

2012-2013年度士別ロータリーのテーマ  
奉仕の心を大切に 平和の絆を広げよう

## 第2501回例会 2013年3月11日(月)

今日のプログラム ・例会 ・理事会

前回(3月4日)の記録 ・第2500回記念夜間例会並創立記念例会

司 会 坂口芳一会場監督  
唱 国歌斉唱 奉仕の理想  
本日の出席 出席率 会員51人 出席51人 出席率100%  
本日の欠席

メイクアップ

ビジター・ゲスト 藪中重和第2500地区第2分区ガバナー補佐  
ニコニコBOX 泉谷 勇会員(娘さん大学入学)、興水広志会員、阿達 勇会員(以上誕生祝い)  
累計257,000円

### 例会予定

#### ■ 3月例会日 【識字率向上月間】

- 3月4日(月) 第2500回記念例会(夜間例会)
- 3月11日(月) 例会・理事会
- 3月18日(月) 例会
- 3月25日(月) 夜間例会

#### ■ 4月例会日 【ロータリー雑誌月間】

- 4月1日(月) 例会・理事会
- 4月8日(月) 例会
- 4月15日(月) 例会
- 4月22日(月) 夜間例会
- 4月29日(月) 休会(法定休日・昭和の日)

## ■会務報告 ……尾崎 学会長

● 3月に入り日中はだいぶ暖かくなってきましたが、一昨日の道東地方の大吹雪により大きな被害出ています。吹雪の怖さを実感致しました。

● 本日は、国際ロータリー第2500地区第2分区ガバナー補佐藪中重和様をお迎えし、私達士別ロータリークラブ2500回記念例会を会員並びに奥さま方と一緒に開催できますことに心より感謝とお礼を申し上げます。

士別ロータリークラブは旭川西ロータリークラブのスポンサーにより1960年（昭和35年）3月24日が創立の日であります。以来52年の歳月が過ぎ、今日3月4日の例会が2500回目の例会になります。私は国際ロータリー第2500地区の地区内クラブとして、節目の2500回例会を迎えられた事に大変嬉しく思います。過去の資料や会報を見ながら、多くの先輩諸兄によって築き上げられた長い歴史と伝統をあらためて振り返ることが出来ました。しかし、全てがわかったわけではありませんが、その時、その代の活動を知る事ができました。

そして先日、百瀬会員より電話を頂き、保管されていたロータリーの貴重な資料を私に預けられました。本日、その資料を持って参りましたので、会員皆様にご覧頂きたいと思っております。創立の時の資料や会報、活動計画書、国際ロータリー加盟認承状伝達式のプログラムなど初めて見るものが多いです。これからも大切に保管して行きたいと思っております。

士別ロータリークラブ50周年の時の記念誌「五十年の歩み」の中で、当時2009年～2010年度ガバナー山本信雄氏が、「歴史を知ることは、現在を知ることであり、現在を知るとは、未来を知ることです」と述べています。今日の例会を新たな出発点として、3000回、5000回へと、つなげて行きたいと思っております。

この後、ささやかではありますが、2500回例会を記念して皆さまと一緒に懇親を深めて行きたいと思っております。その中で、会員皆様から思い出のスピーチを戴きたいと思っております。

最後となりますが私は、士別ロータリークラブは一つの大きな家族であると、申してきました。その絆は揺るぐ事なく、次年度へつなげて行きたいと思っております。本日、ご出席頂いた奥さま方ははじめ、ご家族の皆様へのロータリーに対するご理解とご協力に深く感謝を申し上げ、これからもご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます、会務報告とさせていただきます。

## ■幹事報告 ……泉谷 勇幹事

①2013年度国際ロータリー年次大会（リスボン大会）参加旅行募集案内が再度来ております、参加ご予約のメンバーが居りましたら私幹事まで連絡下さい。

② 今月のロータリーレートは92円です。

## ■次年度報告 奈良康弘次年度幹事

① 2月13日に開催致しました第1回次年度役員会及び2月22日に開催致しました第2回次年度理事会におきまして、2013～2014年度クラブ組織表の承認を頂きました。ネームホルダーに組織表を配布いたしましたので、御確認下さい。次年度に向け、皆様のご協力の方、宜しく御願いたします。

②組織表にも記載しておりますが、国際ロータリー第2500地区次年度委員の選任依頼が来ております。委員会名といたしましては、広報・地区IT推進委員で御座います。当クラブより、宮崎隆雄会員を選任いたしましたので、併せて報告致します。宮崎会員宜しく御願いたします。

③ 3月19日次年度第1回クラブ協議会を開催いたします。詳細につきましては既にFAXにて御案内いたしております。役員及び委員長の皆様、出席の方お願いいたします。

## 3月誕生祝い



田中 全会員、奥水広志会員  
阿達 勇会員、今井 裕会員

## 3月結婚祝い

武田 修会員 高山 稔会員  
鈴木 勉会員 宮崎隆雄会員  
織戸俊二会員 佐藤安司会員  
伊藤優市会員 今井 裕会員

# 第2500回例会記念特集

2013年3月4日 於 士別グランドホテル



ご夫人も訪れた記念例会、尾崎会長あいさつ



藪中ガバナー補佐の乾杯で例会スタート

## ●山口哲雄親睦家族活動委員長（実行委員長）あいさつ

今日は第2500回例会記念ということで、歴史の重みを感じています。長い間、続けられたということはクラブの奉仕活動、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕と一丸となって歩み、今日に到ったと思います。

ご夫人方もお招きしておりますが、「夫はロータリーで何をしているのだろう」とお思いだと思います。国際奉仕といっても饑餓、食料、水、ポリオ、識字率などの問題など子どもたちが直面している様々な問題がありますが、ワンコイン（500円）、そして100ドルと毎年、国際ロータリーの財団に寄付しています。

物心両面にわたって奉仕しているということも大きなテーマだと考えています。また地域においても私たちは青少年の健全育成、社会福祉の向上、国際交流といろいろ多岐にわたってひとりひとりが参加しています。

今日は藪中ガバナー補佐、奥様をお迎えして盛大に例会を開催することができましたこと、お礼申し上げます。

## スピーチ —古（いにしえ）を振り返る—

### ●大野裕一郎会員

ただいま紹介を受けました私の父がチャーターメンバーでありまして、また創立時代の初代幹事も務めたということで、その関係でスピーチに指名されたと思います。

また当クラブには私の他にも武田会員、岡田会員、興水会員、そして志村会員らの父がチャーターメンバーの会員ではあったわけですが、今回はたいへん恐縮ではございますが、私の方々を代表してお話をさせていただくことで、許しをいただきたいと思います。

私も父から生前、伝聞話ということで折に触れて聞いた話ではありますので、間違っていたり、誤解があった場合は後でご指摘をいただければと思います。また合わせてロータリーに関してアドバイスを受けたこととか、あるいはまた私が今、現実にも思っていることなどそういうことも含めて限られた時間、お話をさせていただきます。

父が最初にロータリーに関して私に話をしてくれたのは、実は先ほど会長から創立日は1960年、昭和35年3月24日創立をした、で、その創立に関する発起人会が同年の3月8日で、その会合をみふねで行ったという話をしていました。

その時の発起人会の呼びかけをした7名の方、商工会議所の森実さん、赤岡さん、日甜の所長の松田さん、それと西條初太郎さん、当時拓銀の支店長の乗田さん、興水さん、そして私の父が呼びかけをして、当時の経済同友会のメンバー18人が出席をして総勢25名でその会合を持ったという話でありました。

そこに当時旭川西ロータリーが特別代表のアドバイザーが来られ、その中で士別ロータリークラブを

設立をしようということが決まったようであります。

三役を誰にするかとういうことになった時に、日甜の松田さんが前任地でロータリークラブに在籍していたという経験を買われまして、初代に松田さん、やっってくださいということで指名されたようであります。

副会長は森実さん、そして幹事に、当時の幹事というのは小間使い、走り使いの感があったということで若い者でいいのではないかとことで、当時父も41歳で、「大野お前がやれ」となり、いいですとなりました。（通信文については略=会報2418号・大野忠義会員の卓話参照を）。当時は（その通信文について）学校の英語の先生にも時間を割いていただき、その翻訳を手伝ってもらったというような話もしていました。

合わせてロータリーの運営についてもわからないことが多かったので、当時旭川の西クラブ、あるいは岩見沢まで時間を割いて赴き、ロータリーの勉強にいそしんだということでもあります。

当時のロータリーの規約で出席率の規定が非常に厳しく、半期で60%を割った時には廃部になる。それを守るために欠席した会員に2週間以内にメーキャップしてくださいと60%を切らないように進言をしていたという話をしていました。

また後日の話ですが、出席率の関係である会員がどうしても仕事の関係で60%を切ってしまう、会員としての資格が終結をするのでと話をしにいくと、60%を切る前に仕事がなくなると言われ、ジレンマに悩んでいたこともあったかと思えます。

しかしながら父を見ていると、ロータリーにたいしては素晴らしいものだとか、言葉の端々に言っていました。

私が入会したのは平成4年です。その時、父にお前はいくつになったと聞かれました。41歳だと答えると、そろそろロータリーだなあ、俺も年だし交代しようと言ったのが平成4年でした。千葉道夫会員が会長になった平成16年に幹事を仰せつかりました。その話を父にすると、「ありがたい話だなあ。ロータリーを真剣に勉強する時間が与えられたんだから、一生懸命頑張んなさい、ロータリーは素晴らしいものだぞ」と送り出してくれました。

## ●佐藤安司会員

大野会長の時に入会しまして、当時の先輩達から親睦委員長だとか会場監督などの仰せつかってきました。特に親睦委員長の時には会員の親睦が第一だということで、層雲峡に行って麻雀大会を計画したり、会場監督の時には旧商工会館で例会をやっていたわけですが、会場監督の仕事というのは昼の仕出し弁当を発注して準備するというのが大事な役割でした。

昭和55年、幸田会長の時に幹事を仰せつかりましたが、みなさん多忙なために例会は木曜日でした。週の後半のために出席が悪いのではと、週の前半にしようということから例会日の変更をさせてもらったり、さらに思親花がオープンし、会場を移したことが思い出として残っています。

さらに変わった思い出として青少年奉仕委員会の事業の中で「1日父親デー」で、母子家庭をメンバーが訪ねるのですが夜のお仕事のお母さんが多く、お子さんへの慰問というより、お母さんへの慰問みたいな感じだったことが覚えています。

## ●本山忠之会員

2000年、幹事を仰せつかり、市田会長はボランティア方針が抱負で、グリーンベルトに時計を設置したいということで、前の年に40周年の周年事業もおこなっており、どうなのかということもありました。会長の幹事の間で、会員のみなさんにどのように頼んだらよいのか、なかなかまとまらない、どうしようかなということもありました。

会員のみなさんの協力もありまして会長の思いがみなさん方の間につたわりました。もう12年になります。

ロータリークラブというのは、素晴らしい方々の集まりだと私の思います。20年近くやっていますが、おつきあいしていた方がなくなったり淋しさありますが、みなさんといっしょに楽しくロータリーを歩めればと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。

（※佐藤元信会員、山本榮会員については次号以降に掲載します）